

菊池市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

調査へのご協力をお願い

菊池市では、平成26年度末を目途に「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとし、現在、その準備作業を進めております。

この計画は、本市にお住まいの子育て中の保護者の方々の、子育てに対する不安や負担感を解消するために、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することを目指しています。

計画策定にあたりまして、皆様のお考えやご意見をお寄せいただくため、アンケート調査をお願いすることといたしました。貴重な資料とさせていただきますので、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回の調査では本市在住の未就学のお子さんをお持ちの保護者を対象に調査を実施しています。ご記入いただきました内容は統計的に処理し、個々の調査票を公表したり、目的以外に使用することは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

※ 回答いただいた調査票は、平成25年11月18日（月曜日）までに、同封の返信用封筒でポストに投函いただきますよう、よろしくお願い致します。

1. この調査は、お名前を書く必要はありません。
2. この調査の回答は、保護者の方が回答してください。
3. ご記入いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ投函してください。
4. 数字を記入する際は一枠に一字で、小数点以下は切り上げてください。
5. 本調査についてご不明の点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【 調査実施主体 】

菊池市役所 子育て支援課 〒861-1392
熊本県菊池市隈府 888 番地
T E L 0968-25-7214

【 調査業務受託者 】

株式会社九州みらい研究所 T E L 096-214-6014

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成 27 年度から実施予定）。

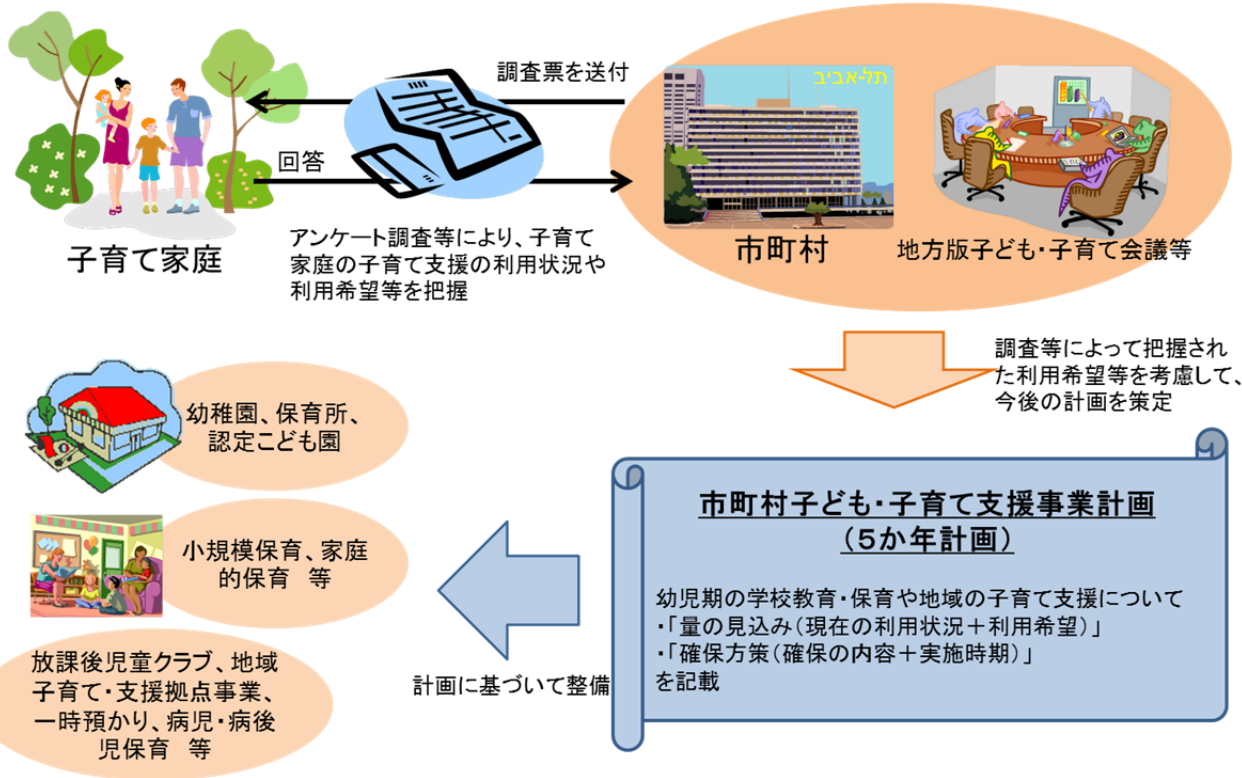
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- 保育所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- 認定こども園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育 : 問1 2までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問1 3以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|-------------|------------|-----------|
| 1. 隈府小学校区 | 2. 菊池北小学校区 | 3. 菊之池小学校区 | 4. 花房小学校区 |
| 5. 戸崎小学校区 | 6. 七城小学校区 | 7. 旭志小学校区 | 8. 泗水小学校区 |
| 9. 泗水東小学校区 | 10. 泗水西小学校区 | | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。□内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)

平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。) お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 □ 人 末子の生年月月 平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がはいない |
|-----------|-------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 () | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境 すべて に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他 () | | |

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | →問8-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | →問8-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | →問9へ |

問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. いる / ある →問9-1へ | 2. いない / ない →問10へ |
|-------------------|-------------------|

問9-1 問9で「1.いる/ある」に○をつけた方にかかっています。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（【例】ベビーシッター） | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | (1)-1へ |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | (2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) - 1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。□内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(1) - 2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。□内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、
育休・介護休業中ではない | |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、
育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、
育休・介護休業中ではない | (2)-1へ |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、
育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | 問11、12へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(2) - 1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。□内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) - 2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。□内に数字をご記入ください。(数字は一枠に一字。)時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時



問11 問10の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号にそれぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字。)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい
下の子どもが □ □ 歳になったころ
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)
1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい
下の子どもが □ □ 歳になったころ
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム・アルバイト等(「ア」以外)
1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問 13-1 に示した事業が含まれます。

問 1 3 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 13-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 13-5 へ

問 1 3 - 1 問 13 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 家庭的保育（保育ママ事業）
（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. その他の認可外の保育施設
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
10. その他（）

問 1 3 - 2 問 13 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字をご記入ください。（数字は一桁に一字。）時間は、必ず（例）0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)

問13-3 問13で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 菊池市内

2. 他の市町村

問13-4 問13で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している

3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である

4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している

5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある

6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である

7. その他（

）

問13-5 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）

下の子どもが 歳くらいになったころ

9. その他（

）

問14 すべての方にかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています（自治体における料金設定を示す）。

1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育(保育ママ事業)
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他 ()

問14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてかがいます。 いずれか1つに○をつけてください。

1. 菊池市内

2. 他の市町村



宛名のお子さんが幼稚園を利用している方に、

現在の幼稚園における預かり保育の利用状況等をうかがいます。

※ 兄弟で同時就園している場合は、併せてご記入ください。

⇒ それ以外の方は、問16へ

問15-1 通園中の幼稚園名をご記入ください。

幼稚園

問15-2 現在の幼稚園で、預かり保育を利用していますか。

- | |
|--|
| <p>1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している 問15-3へ</p> <p>2. 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している 問15-4へ</p> <p>3. 現在、特に利用している保育事業等はない(上記1、2に該当しない) 問16へ</p> |
|--|

※ 親族、知人、友人等による預かりは3としてお答えください。また、親族等による預かりが中心で、時々(例えば週1日程度)、幼稚園の預かり保育を利用するような方も3としてお答えください。

問15-3 問15-2で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

1週当たり 日 1日当たり 時間

問15-4 問15-2で「2.」に○をつけた方にうかがいます。

どういった保育事業等を利用されているか、当てはまる番号1つに○をつけて下さい。また、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

利用している保育事業

- | |
|--|
| <p>1. 保育所の一時預かり(私用などの理由を問わずに一時的に子どもを預かる事業)</p> <p>2. ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもを預かる事業)</p> <p>3. ベビーシッター</p> <p>4. 認可外の保育施設</p> <p>5. その他()</p> |
|--|

1週当たり 日 1日当たり 時間

ここからはまた、すべての方にうかがいます。

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字。）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： _____）
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
3. 利用していない

問17 問16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字。）**なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。**（自治体における料金設定を示す。）

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に □ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① 母親（父親）学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 公民館等における子育て講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ つどいの広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の

「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字。）時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	→「2.3.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい ⇒問 19-1 へ	□ □ 時から □ □ 時

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	→「2.3.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい ⇒問 19-1 へ	□ □ 時から □ □ 時

問19-1 問19の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（	）

問20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字。）時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	→「2.3.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい ⇒問 20-1 へ	□ □ 時から □ □ 時

問20-1 問20で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問13で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問22にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった →問21-1へ	2. なかった →問22へ
----------------	---------------

問21-1 問21で「1.あつた」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字をご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ →問21-2へ	□□ 日
イ. 母親が休んだ →問21-2へ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった →問21-5へ	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた →問21-5へ	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した →問21-5へ	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した →問21-5へ	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した →問21-5へ	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた →問21-5へ	□□ 日
ケ. その他 () →問21-5へ	□□ 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問21-2 問21-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)。

※ 現在市内には1カ所の病後児保育施設があり、利用する場合、1日1人当たり2,000円(食事代・おやつ代等は上記利用料には含まれておりません)の利用料がかかります。なお、利用するにあたっては事前の登録が必要となります。

- | | | | | |
|----------------------------|----------------------|----------------------|---|---------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 | →問21-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない | →問21-4へ | | | |

問21-3 問21-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他() |

問21-4 問21-2で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他() | |

問21-5 問21-1で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母いずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)。

- | | | | | |
|--------------------|----------------------|----------------------|---|-------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 | →問22へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | →問21-6へ | | | |

問21-6 問21-5で「2.休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う

一時預かり等の利用についてうかがいます。

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字をご記入ください。（数字は一桁に一字。）

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不規則に利用する場合のみ）	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□ □ 日
4. 夜間養護等事業 （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他（ ）	□ □ 日
7. 利用していない →問22-1へ	

問22-1 問22で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字。) **なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。**

利用希望	日数 (年間)
1. 利用したい	計 □ □ 日
ア. 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院 等	□ □ 日
ウ. 不定期の就労	□ □ 日
エ. その他 ()	□ □ 日
2. 利用する必要はない	

問24 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など) により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字。)

1年間の対処方法	日数 (年間)
1. あった	計 □ □ 日
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった →問24-1へ	□ □ 日
イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
ウ. イ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	□ □ 日
エ. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 日
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
カ. その他 ()	□ □ 日
2. なかった	

問24-1 問24で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

宛名のお子さんが5歳以上である方に、

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の子どもを持つ方は、問29へ

問25 宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字をご記入ください。（数字は一桁に一字。）時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の過ごし方	日数
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。



問26 宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字をご記入ください。（数字は一枠に一字。）時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ だいたいのことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

放課後の過ごし方	日数
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答



問27 問25または問26で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に数字をご記入ください。（数字は一枠に一字。）時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→「1.2.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□ □ 時から □ □ 時
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→「1.2.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□ □ 時から □ □ 時
3. 利用する必要はない	

問28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に数字をご記入ください。（数字は一枠に一字。）時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→「1.2.」に○をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	□ □ 時から □ □ 時
3. 利用する必要はない	



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など

職場の両立支援制度についてうかがいます。

問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を()内にご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒取得していない理由を、 <u>下から番号を選んで</u> ご記入ください。 ()	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒取得していない理由を、 <u>下から番号を選んで</u> ご記入ください。 ()

取得していない理由

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を所得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()
--

子育て全般についてうかがいます。

問30 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 非常に満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

問31 子育てについて、どのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 楽しいと感じることが多い | 2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい |
| 3. 辛いと感じることが多い | 4. その他 () |
| 5. わからない | |

問32 菊池市は子育てがしやすいまちだと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 子育てしやすいと感じる | 2. どちらかといえば子育てしやすいと感じる |
| 3. どちらかといえば子育てしやすいと感じない | 4. 子育てしやすいと感じない |
| 5. わからない | |

問33 あなたは子育てが地域に支えられていると感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 十分に感じる | 2. まあまあ感じる |
| 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |

問34 あなたは、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 配偶者の協力 |
| 2. 配偶者以外の家族の協力 |
| 3. 子育て後に再就職できる制度の充実 |
| 4. 労働時間の短縮制度の充実 |
| 5. 職場内保育園の整備・充実 |
| 6. 職場内での子育てに関する制度や環境の充実（育児休業制度や育児時間が取れる職場環境など） |
| 7. 職場の中の意識や理解、協力体制 |
| 8. 親の仕事の形態にあわせた保育施設やサービスの充実 |
| 9. その他 () |
| 10. 特に必要なものはない |

問35 子育てについてどのような気がかりや悩みがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの健康
2. 子どもの食事や栄養
3. 子どもの性格・日常の行動
4. 子どもの友人関係
5. 子どもの非行
6. 子どもへの接し方
7. 子どもの学校における生活
8. 子どもの将来（進路・教育）
9. 仕事と家事・育児の両立
10. 教育費や養育費といった経済的負担
11. 子育てに対する家族間の意見の相違
12. 子育てに関する家族の協力の有無
13. その他（)
14. 気がかりや悩みは特にない

問36 安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つために、充実してほしいと思うことは何ですか。当てはまる番号に5つまで○をつけてください。

1. 健康維持や健診など、母子への保健サービス
2. 小児医療や救急医療体制
3. 在宅における子育て支援サービス
4. 仕事をしながら安心して子育てしていくための保育サービス
5. 幼稚園・学校等の教育内容、教育環境
6. 子どもの居場所や安全に遊べる場づくり
7. 親自身やこれから親となる方への教育
8. 思春期の子どもたちの心と体の育成
9. 子育てを協力・支えあえる地域のつながり
10. 就労と子育てを両立しやすい環境（家庭や職場）づくり
11. 家族向け住宅などの住環境づくり
12. 親子連れでも利用しやすい公共施設・交通機関等の整備
13. 子どもの交通安全対策
14. 子どもが犯罪に巻き込まれないための対策
15. 子どもの虐待防止
16. ひとり親家庭の支援
17. 障がいのある子どもの発達と成長の支援
18. その他（)

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。